



【以下授業で活用している学校への質問】

6-1、学校経営方針の下で森を使った授業の位置づけ

(該当する番号に○：複数回答可)

- 1) 子ども達の自然体験機会が減少する中で貴重な体験学習と位置づけている
- ② 総合的な学習の時間のテーマに相応しいと位置づけている
- ③ 自校の特色ある学習と位置づけて積極的に取り組んでいる
- 4) 環境学習の様々なメニューの一つと位置づけている
- 5) 地域に開かれた学校を目指す一環の授業と位置づけている
- ⑥ ESD の推進にとって重要な要素と位置づけて取り組んでいる
- 7) 震災を受けて防災・減災の視点を含めて取り組んでいる
- 8) 屋外での授業そのものに高い学習効果が見られることに着目している
- 9) その他( )

7-1、授業で森を活用する視点 (該当する番号に○：複数回答可)

- 1) 森の中の学習は子ども達の集中力を高める
- 2) 机の上ではなく、森の中でのエピソード記憶が長期記憶に繋がる
- 3) 森というフィールドの体験を通じて自然への感性を養うことができる  
具体的には、
  - ① 自然の中で伸び伸びと過ごすことで養われる感性
  - ② 森の多様性を前に生態系の繋がりを理解する感性
  - ③ 自然なしに人間は生きられないが、同時に自然は人間の脅威にもなりうる存在であることを理解する感性
- 4) 体験によって感性が磨かれ、自ら課題を見つける行動に繋がる
- ⑤ 自ら課題を見つけて解決するという生きる力を身につける行動に繋がる
- 6) 答えのない世界で考えることは多くの子どもが元気に行動できる
- ⑦ 森の中で仲間と助け合う行動を養う
- 8) 先生以外の地域の人等が学習に参加することで子ども達の視野が広がる
- 9) その他( )



【以下授業以外で活用している学校への質問】

6-2、授業での活用を行っていない理由（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 森での活動を授業に取り込む必要を特段感じていない、
- 2) 森での活動を授業に取り込みたいが現時点では障害がある
- 3) その他（ ）

7-2、6-2で2)と回答した学校へ 授業で活用する上での障害について

（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 各教科で習得すべき単元数が増加し、余裕が無い
- 2) 総合学習に相応しいテーマが森の活用以外に別にある
- 3) 森はあるが整備されていないので利用できない
- 4) 先生だけでは指導ができず、外部の指導者もいない
- 5) 森の整備にはお金がかかるので、継続して活用することが困難
- 6) その他（ ）

8-2、子ども達の学習での有用性について（該当する番号に○：複数回答可）

- ① 家庭では自然と接する機会が少ないので貴重な自然体験の場となっている
- 2) 屋外で体を動かすことで子ども達が健康になった
- ③ 助け合う等子ども達同士の関係が良好になっている
- 4) 学校の先生以外の地域の人等との人間的なつながりで視野が広がる
- 5) その他（ ）

【以下全ての学校への質問】

9、学校の森の活動の指導者について（該当する番号に○）

- 1) 教師が主体
- 2) 森林管理署、NPO等の学外団体が主体
- 3) 教師と森林管理署、NPO等の学外団体の協同態勢
- ④ 4) その他（ 教師と教育委員会、役場関係者、村内指導者 ）  
森林管理署、NPO等の学外団体の具体名（ ）

10、指導の場面で地域の協力を得ている学校についての質問

（該当する番号に○：複数回答可）

- ① 1) 学校について地域の理解が得られ、地域と学校との関係が良好になった
- 2) 先生の地域への関心が高まった
- 3) 地域の人々の力を借りることで子ども達の授業への関心も高くなった
- ④ 4) 子ども達が自分の地域を好きになり、有用感が高まっている
- 4) 地域の人々との調整で時間がとられて先生は大変になった
- 5) その他（ ）

11、学校の森についてのPTAの関わり（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 森の整備についてボランティア協力
- 2) 森の活動時の見守りについてボランティア協力
- 3) 森の整備や備品の購入等の活動経費の支援協力
- ④ 4) 特段の支援はない
- 5) その他（ ）

12、11でPTAの協力を得ていると回答された学校へ 具体的な内容

--

13、学校の森の活動に必要な道具について（該当する番号に○：複数回答可）

- ① 軍手
- 2) 長靴
- ③ ノコギリ、鎌
- 4) 木工関係の道具
- 5) 観察板・虫取り網・飼育ケース
- ⑥ その他（飯ごう炊飯の道具、ヘルメット）

14、13の道具の調達について（該当する番号に○：複数回答可）

- ① 学校で購入
- 2) 外部からの寄付
- 3) 子ども達の家から持参
- 4) 森林管理署、NPO等の学外団体からの借り入れ（具体名：）
- 5) その他（ 村の備品を借りる）

15、13の道具以外に学校の森の活動に要する費用について

（該当する番号に○：複数回答可）

- ① 指導者謝礼
- 2) 歩道刈り払い等の毎年発生する森林整備の外注費用
- 3) 樹名板等の林内設置物の費用
- 4) 児童／生徒の森までの往復交通費
- 5) その他（）

16、上記費用の大凡の金額について（数年に一度の森林整備費用は除く）

（該当する番号に○）

- 1) なし
- 2)  あり
- ① 1万円未満    ② 1万円以上    ③ 3万円以上    ④ 5万円以上
- ⑥ 10万円以上（具体的には、 万円）

17、16の費用の捻出について（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 学校運営費で賄う
- 2) 参加費として児童の家庭から集金
- ③ PTAの寄付

- 4) 市町村の予算（教育委員会、教育委員会以外の森林整備セクション等）
- 5) その他（ )

18、数年に一度の大規模な森林整備費用の有無と対処法（該当する番号に○）

- 1) 発生しない  )
- 2) 発生する
  - ① その場合の整備の内容（ )
  - ② 必要金額（ 万円）
  - ③ その資金の捻出先（ )

19、学校の森の活動で困っていること（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) なし
- 2) フィールドが遠い
- 3) フィールドが整備されていない
- 4) 登る際の傾斜が急である
- 5) 指導者の協力が継続できるかどうか不透明
- 6) 運営上の経費負担が大きく予算を継続できるか不透明
- 7) その他（校内での研修体制を毎年整え新しく来られた先生方に伝えることが  
毎年の課題である )

20、学校の森の昨年度の活動と今年度の活動比較（該当する番号に○）

① 昨年度より進化

具体的には（ ESD の視点を加味した取り組みの研究 ）

2) 昨年度より後退

具体的には（ ）

3) 昨年度と変わらない

4) 今年度から開始

5) 昨年度のことは判らない

6) その他（ ）

21、学校の森の来年度の活動についての展望（該当する番号に○）

① 今年度より進化させたい

具体的には（ 取り組みの体系化 ）

2) 今年度より後退する危惧あり

具体的には（ ）

3) 異動もあり来年度のことは判らない

4) その他（ ）

22、活動中止の危機の有無（該当する文言に○）

有り、~~無し~~

ありの場合以下のどういった背景か？（該当する番号に○：複数回答可）

1) 所有者との関係で森の使用が出来なくなる恐れがある

2) 森の整備の担い手がいなくなって藪に戻ってしまう

3) 森の活動で事故が起きて安全管理面での問題を指摘される

4) 教室内での授業時間増加の要請／学力低下

5) その他（ ）



23、活動中止の要因として考えられること

特に無し、想定できる

想定できる場合以下のどういった背景か？（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 校長交代
- 2) PTA 会長交代
- 3) 指導役の先生の異動
- 4) 協力団体の中断
- 5) 教育委員会の方針変更
- 6) 森の所有者との関係悪化
- 7) その他（ )

24、活動継続に向けた対応（該当する番号に○）

- 1) 特に必要性を感じない
- 2) 必要性を感じるが対応は出来ていない
- 3) 一定対応している

具体的には、（該当する番号に○：複数回答可）

- ① PTA を応援団に育成／学校評価での実績づくり
- ② 転入してきた先生を活動の推進役に育成
- ③ 学外の運営協力者／団体を学校経営にも参画させている
- ④ 教育委員会を応援団に育成／学校評価での実績づくり
- ⑤ 森の活用校で連携して活動の成果を普遍的なものにする
- ⑥ その他（ )

25、自由記入欄

--

--

学校経営方針など文書化されたものがある場合はコピーを同封して下さい。

以上アンケートに回答頂き有り難うございました。